

環境滋賀 私の意見論評

「幸せ」な暮らし

八日市市立聖徳中学校三年

北川 亜衣

いつも何気なく過ぎていく時間の
中で、みなさんは「幸せ」について
考えてみたことはありませんか？ 人
それぞれの思いがある中で、私はと
もにどの生きものたちも「幸せ」と
いえる、思える社会をつくることが
大切だと考えています。

例えば、水とホタル。ホタルは小
川や田んぼなどのきれいな水のとこ
ろに棲んでいます。多くはコンク
リートで埋められ棲めなくなっ
て、今では昔よりも数が減ってしまいま
した。川や湖の水は汚れ、その川や
湖に昔からいた生きものたちがい
なくなっています。

反対に良いところもあります。コ
ンクリートで埋められたことによ
って、小さな子どもたちが遊ぶのに危
なくないことや遊べる場所が増え
て、コミュニケーションも増える
と思います。でも、その良いところは
人間にとってだけかもしれません。



水は、私たち人間にとってだけで
はなく、生きものにとってもかけが
えのないものです。それなのに「少
しくらいゴミを捨てたって平気」と
か、「これくらいゴミなら捨てて
も大丈夫」と何も考えず、水を平気
で汚す人が増えています。いくらそ
の川や湖をきれいにしても、捨てる

人がいれば同じことの繰り返しで
す。こんなことは、自分たちにとっ
ても悪い影響の出ることだし、それ
以上に動物や植物たちを苦しめるこ
とにもなると思います。

私はみなさんに、自分で自分の大
切なものを汚していることに気づい
てほしいのです。一人の人が川にゴ
ミを捨てれば、また別の人がゴミを
捨てることになります。それを繰り返
返していく結果、川は死んでいき、
それとともに生きていたものたちも
死んでしまうのです。ゴミを捨てて、
すぐ動物たちが死ぬわけではないけ
れど、川へゴミを捨てることを繰り返
返せば、川が死んでしまい、動物も
植物も生きられなくなるのだ、とい
うことに私たちは気づくべきだと思
います。

私たち人間は自分たちだけで生き
ているのではなく、動物や植物など

あらゆるものたちに助けられながら
生きているんです。これだけ助けて
もらっているのに、困ったときに私
たちが助けてやらないで、一体どう
しろというのでしょうか。

生きていくには水はとても大切な
ものです。水は動物みたいに鳴いた
りしないけれど、私は同じ生きもの
だと思っています。この世に生きる
ものたちすべての「幸せ」を考えま
しょう。私たち人間には「言葉」と
いう便利なものがあるのだから、そ
れを使ってみんなで話し合い、より
よい未来をつくるお手伝いをしませ
んか？ そうすればきっと、生きもの
のたちすべてが私たちに語りかけて
くれると思います。「言葉」はない
けれど、私たちに「ありがとう、こ
れからは大切にしてください」とやさし
いメッセージを送ってくれるよう
な、そんな気がしています。

淡海環境保全財団は、さらなる環境保全に対する取り組みを行ってまいりたいと思
います。つきましては、当財団に対するご意見やご感想、ご希望などをお寄せくださ
い。いただいたご意見は、次号(二〇〇四(平成十六)年九月一日発行予定)で紹介
させていただきます。ご意見は、次号(二〇〇四(平成十六)年九月一日発行予定)で紹介
させていただきます。